

編集後記

会報 13 号を発行いたしました。今号は論壇に 9 名の会員からご寄稿いただきました。皆様ぜひお読みください。

3 年半ほど前の 10 月のこと、かつて東京帝国大学農学部（駒場農学校の後身）があった駒場の東大教養学部を散歩がてらに家内と一緒に訪れた際に、駒場博物館となったかつての第一高等学校の駒場図書館で、第一高等学校の校長であった森巻吉先生の回顧展「一高校長森巻吉とその時代 向陵の興廃この一遷にあり」の案内が目についたので入ってみた。そこでは、1935 年（昭和 10 年）に農学部と第一高等学校の校地交換が行われ際に、第一高等学校生 1000 人余りが今の本郷にある農学部から隊列を組んで、お茶の水駅の脇をとおり、皇居を遙拝し、駒場まで行進しているフィルムが上映されていた。図書館の片隅から当時の映像フィルムが見つかったので、デジタル化し DVD に記録してそれを映写していたのであった。持っていたデジカメで写真を撮っていたら、会場整理の女子学生に「撮影禁止です。」と叱られたのだが、ぜひ農学部の先生方にも見ていただきたいと思い、教養学部長にお願いしてコピーをいただき 12 月の教授会の後の忘年会で映写した。皆さんに好評であったが、若い教授の先生の中には、昔から農学部はこの地あったのではないのですかと言われ、びっくりした思いがある。

停年退職した 3 年ほど前、一高生の行進した道を辿ってみようと思い、日曜日に歩いてみたところ、一高生より 30 分ほど早く 3 時間で歩くことができた。しかし、その後あらためて DVD を見たところ国会議事堂前を向かって左から右に行進していることに気づいた。前回は六本木通りを歩いたのだが、どうも青山通りを行ったのではではないかと思い、先日歩きなおしてみたのだが、やはり 3 時間ほどで辿り着けた。3 年たっても 3 時間で歩けたのでまだまだ歩けると自信を持てたのが一番の収穫であった。

上記の顛末は、農学部の歴史がホームページに掲載されていないことに気づき、広報委員会に作成をお願いした一環で、自分でもう一度この目で駒場の地

を見ようと思ったことがきっかけとなった。その後、広報委員の清水謙太郎先生により詳細な東大農学部の歴史が掲載されたので、ぜひご覧ください。また上記の DVD のコピーは私の手元にありますので、ご覧いただきたい方はご一報ください。10分ほどの長さです。

次の会報14号は2010年12月に発行を予定しております。会報の発行も6月と12月の年2回が定着してきました。会員の皆様による論壇への積極的な投稿をお待ちしております。11月中旬までに原稿をいただけると幸いです。

(會田 勝美)